

スーパー御庭番の達人たち… ⑥

ユーザー様のハイレベルな仕事ぶりをレポートするこのシリーズ、今回は、御庭番ユーザーの会「栃木御庭会」の初代会長として作図技能向上と会の発展に尽力される達人に、上達法とさまざまなテクニックを教えてくださいました。

ひと晩いじるうちに使い方をマスター！ 新しいデザインや 部材を工夫するのが、また楽しい

「スーパー御庭番の達人」
有限会社 泉新工業 代表取締役 広瀬泉様

御庭番を導入したのは7年前。使い始めた日、作図の説明を受けて、その晩一人でやってみたら、思ったよりどんどんできたんです。それで、ひと晩かけて図面もパースも仕上げてしまいました。翌朝、続きを教えに来てくれた担当者の方の、「ええっ？本当に描いたんですか？」という驚いた顔が忘れられません（笑）。御庭番の良さは、「コマンド」といったパソコンの専門用語でなく、きちんと日本語で、それもエクステリア工事の用語を使っていること。それに、パースの描き方は、基準点を設けて、いくつ上がりで…とやっていくので、現場と同じなんです。なので、パソコンに詳しくなくても使いやすいと思います。御庭番にはたくさんの部材や商品が入っていて、たいいていのプランはつくれます。

しかし、そこにない部材やデザインが必要になった時は、既存の部材から工夫して自分でつくってみたくになりますね。そういう作図をしているときは、もう時間を忘れて没頭してしまいます。で、たとえば門柱のアーチを出すために、大きさの違う円柱をちょっとずつつなぎ合わせたり…。そんな面倒な作業を延々とやっている、修行僧のような気分になります（笑）。そこまで凝っても、誰が気がつくわけでもなく、別に売りに上げてプラスになるわけでもないんですが（苦笑）、でもやっぱりいろいろと試行錯誤したすえに思い通りのものが描けると、ものすごく達成感があります。それに、建物にしても、ディテールにしても、より本物に近く描ければ、その分さらにリアリティが増して、お客様に対しても説得力が高まると思いますね。



「御庭番を導入したきっかけは、商品展示会のデモンストレーションの女性が素敵で、あ、御庭番っていいかも…と憧れてしまって（笑）」などとユーモアたっぷりに取材に応じてくださった広瀬様。



達人からの上達アドバイス



「習うより慣れろ」
「立ち向かうのでなく遊ぼう」

御庭番のようなOA機器は苦手、という方は、まず肩の力を抜きましょう。「御庭番に立ち向かう」のではなく「御庭番と遊ぶ」という感覚で、まずは気軽にさわってみてはいかがですか？

「ピー」と鳴るので、安心して間違えられますね。最初はどんどん間違えたほうがいい、その分覚えやすから。で、簡単なものでいいから、なんとか作図を一つ完成させてみてください。そうすれば自信がつくし、面白くなって、次に進んでいけると思います。



達人のテクニック・その1

屋根は、実物の建物を写真に撮ったり
平面図から勾配を計算して描く

御庭番に入っている家は、大まかなものが数パターンだけなので、ちゃんと描こうとすると、自分で工夫しなくてはならなくなります。とくに屋根は家によって形や勾配が違うので、かなり難しい。私は建築の知識がないので、複雑な屋根は描けませんが、現場で実物の写真を撮ったり、屋根の図面が手に入ればそこから勾配を計算して、角度を合わせ、屋根を描いていきます。面倒だけど、工夫するのは楽しいですね。



達人のテクニック・その2

ツートンカラーの外壁は、
塀の機能を使って
高さを3通り設定して色分けする

建物の外壁が2色になっている場合は、上の色、境目のボーダー、下の色に分けます。そして、それぞれ塀の機能を使って高さを設定して描いていきます。たとえば上の部分はH3000、HL3768、ボーダーはH88、下の部分はH3000、HL680というふうに。いつもこんな面倒なことばかりしてるわけじゃありませんよ（笑）。でも最低限、家の壁と玄関ドアと掃き出し窓1つぐらいは描きます。家とのバランスやトータルな視線が大切ですから。



屋根もツートンの壁もしっかり描かれたパース画。「まあ、ここまでする必要はないんですけど、でもお施主様が、「あっ、うちだ！」と驚いてくださって、インパクトはあったようです（笑）」



達人のテクニック・その3

「塀にミニ棚」といったディテールは
階段などの機能を使って、臨機応変に工夫

このお宅では、奥様が「鉢が飾れる棚を塀につけてほしい」と希望されたので、こんなプランを考えました。棚の部分は、こういうパーツが御庭番にないので、階段で作成。塀の中で高さを決めて、階段の踏み面を置いていく、というふうにして描きました。階段は便利で、いろいろなディテールづくりに応用できます。電柱なども階段からつくりますね。電柱まで描くのかって？電柱とか止水栓とかが入ると、パース画にリアリティが出るんですよ。



実際に完成した塀。3枚の棚は小物やグリーンで飾られ、エクステリアに遊び心を演出しています。



階段の機能で描いた塀のミニ棚。最初、木の棚を考えていた奥様に、「木は長持ちしない」と自然石で提案し、採用されました。